

産業廃棄物の種類ごとの集計単位と重量換算係数

電子マニフェストの産業廃棄物分類コード				電子マニフェストの産業廃棄物の分類			重量換算係数 (t/m ³)	重量換算係数 (t/個・台)
連結	大	中	小	大	中	小		
0100	01			燃え殻			1.14	0.228
0110		1			焼却灰		1.14	0.228
0111		1	1			石炭灰	1.14	8.000
0112		1	2			廃棄物の焼却灰	1.14	0.228
0120		2			廃カーボン・活性炭		1.14	1.140
0200	02			汚泥(泥状のもの)			1.10	0.022
0210		1			有機性汚泥		1.10	0.022
0211		1	1			下水汚泥	1.10	8.000
0220		2			無機性汚泥		1.10	0.022
0221		2	1			建設汚泥(残土を除く)	1.10	8.000
0222		2	2			上水汚泥	1.10	8.000
0300	03			廃油			0.90	0.016
0310		1			一般廃油		0.90	0.016
0311		1	1			鉱物性油	0.90	0.016
0312		1	2			動植物性油	0.90	0.016
0320		2			廃溶剤		0.90	0.016
0330		3			固形油		0.90	0.016
0340		4			油でい		0.90	0.016
0400	04			廃酸			1.25	0.025
0401			1			写真定着廃液	1.25	0.025
0500	05			廃アルカリ			1.13	0.023
0501			1			写真現像廃液	1.13	0.023
0600	06			廃プラスチック類			0.35	0.017
0601		0	1			廃タイヤ	0.20	0.007
0602		0	2			自動車用プラスチックバンパー	0.20	0.007
0603		0	3			廃農業用ビニール	0.20	3.000
0604		0	4			プラスチック製廃容器包装	0.10	0.005
0605		0	5			発泡スチロール	0.02	0.001
0606		0	6			発泡ウレタン	0.02	0.001
0607		0	7			発泡ポリスチレン	0.03	0.015
0608		0	8			塩化ビニル製建設資材	0.20	0.010
0700	07			紙くず			0.30	0.015
0710		1			建設工事の紙くず		0.30	0.015
0711		1	1			ダンボール	0.30	0.015
0800	08			木くず			0.55	0.027
0810		1			建設工事の木くず		0.55	0.027
0811		1	1			伐採材・伐根材	0.55	0.027
0900	09			繊維くず(天然繊維くず)			0.12	0.006
0910		1			建設工事の繊維くず		0.12	0.030
1000	10			動・植物性残渣			1.00	0.200
4000	40			動物系固形不要物			1.00	0.200
1100	11			ゴムくず(天然ゴムくず)			0.52	0.026
1200	12			金属くず			1.13	0.056
1210		1			鉄くず		1.13	0.056
1220		2			非鉄金属くず		1.13	0.056
1221		2	1			鉛製の管又は板	1.13	0.056
1222		2	2			電線くず	1.13	0.056
1300	13			ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず			1.00	0.050
1310		1			ガラスくず		1.00	0.050
1311		1	1			カレット	1.00	0.050
1312		1	2			廃ブラウン管(側面部)	0.50	0.025
1313		1	3			ガラス製廃容器包装	0.50	0.025

産業廃棄物の種類ごとの集計単位と重量換算係数

電子マニフェストの産業廃棄物分類コード				電子マニフェストの産業廃棄物の分類			重量換算係数 (t/m ³)	重量換算係数 (t/個・台)
連結	大	中	小	大	中	小		
1314		1	4			ロックウール	0.30	0.015
1315		1	5			石綿(非飛散性)	0.50	0.025
1316		1	6			グラスウール	0.20	0.010
1317		1	7			岩綿吸音板	0.30	0.015
1320		2				陶磁器くず	1.00	0.050
1321		2	1			コンクリートくず	1.50	0.075
1322		2	2			石膏ボード	0.30	0.015
1323		2	3			ALC(軽量気泡コンクリート)	0.50	0.025
1400	14					鋳さい	1.93	8.000
1401			1			スラグ	1.93	8.000
1500	15					がれき類(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物)	1.48	0.074
1501			1			コンクリート破片	1.48	0.074
1502			2			アスファルト・コンクリート破片	1.48	0.074
1600	16					動物のふん尿(畜産農業から排出されたもの)	1.00	0.200
1700	17					動物の死体(畜産農業から排出されたもの)	1.00	0.080
1800	18					ばいじん(工場の排ガスを処理して得られるばいじん)	1.26	0.063
1900	19					処分するために処理したもの(13号廃棄物)	1.00	0.200
2000	20					建設混合廃棄物	0.26	0.013
2010		1				安定型建設混合廃棄物	0.26	0.013
2020		2				管理型建設混合廃棄物	0.26	0.013
2021		2	1			新築系混合廃棄物	0.26	0.013
2022		2	2			解体系混合廃棄物	0.26	0.013
2100	21					安定型混合廃棄物(内訳を入力する必要あり)	0.26	0.013
2200	22					管理型混合廃棄物(内訳を入力する必要あり)	0.26	0.013
2300	23					シュレッターダスト	0.26	0.013
2400	24					石綿含有産業廃棄物	-	-
2410		1				建設混合廃棄物	0.26	0.013
2420		2				ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	1.00	0.050
2430		3				廃プラスチック類	0.35	0.017
2440		4				がれき類(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物)	1.48	0.074
2450		5				紙くず	0.30	0.015
2460		6				木くず	0.55	0.027
2470		7				繊維くず(天然繊維くず)	0.12	0.006
3000	30					廃自動車	1.00	1.300
3010		1				廃二輪車	1.00	0.200
3020		1	1			バイク	1.00	0.100
3030		1	2			自転車	1.00	0.015
3100	31					廃電気機械器具	1.00	0.010
3101		0	1			廃パチンコ機及び廃パチスロ機	1.00	0.030
3102		0	2			プリント配線板	1.00	0.030
3103		0	3			テレビジョン受信機	1.00	0.030
3104		0	4			エアーコンディショナー	1.00	0.040
3105		0	5			冷蔵庫	1.00	0.100
3106		0	6			洗濯機	1.00	0.050
3107		0	7			電子レンジ	1.00	0.015
3108		0	8			パーソナルコンピュータ	1.00	0.005
3109		0	9			電話機	1.00	0.003
3110		1				自動販売機	1.00	0.350
3111		1	1			蛍光灯	1.00	0.001
3112		1	2			冷凍庫	1.00	0.040
3200	32					医療用計測機器類	-	-
3211		1	1			水銀体温計	0.28	0.001

産業廃棄物の種類ごとの集計単位と重量換算係数

電子マニフェストの産業廃棄物分類コード				電子マニフェストの産業廃棄物の分類			重量換算係数 (t/m ³)	重量換算係数 (t/個・台)
連結	大	中	小	大	中	小		
3212		1	2			水銀血圧計	0.48	0.020
3500	35			廃電池類			1.00	0.010
3510		1			鉛蓄電池		1.00	0.010
3520		2			乾電池		1.00	0.010
3600	36			複合材			1.00	0.050
7000	70			燃えやすい廃油			0.90	0.016
7010		1			燃えやすい廃油(基準値を超える有害物質を含むもの)		0.90	0.016
7100	71			ph2.0以下の廃酸			1.25	0.025
7110		1			ph2.0以下の廃酸(基準値を超える有害物質を含むもの)		1.25	0.025
7200	72			ph12.5以上の廃アルカリ			1.13	0.023
7210		1			ph12.5以上の廃アルカリ(基準値を超える有害物質を含むもの)		1.13	0.023
7300	73			感染性廃棄物			0.30	0.007
7400	74			特定有害産業廃棄物			1.00	0.018
7410		1			廃PCB等・PCB汚染物・PCB処理物		1.00	0.100
7411		1	1			廃PCB等	1.00	0.100
7412		1	2			PCB汚染物	1.00	0.020
7413		1	3			PCB処理物	1.00	0.020
7421		2	1			廃石綿等(飛散性)	0.30	0.009
7422		2	2			指定下水汚泥	1.10	8.000
7423		2	3			銻さい(基準値を超える有害物質を含むもの)	1.93	8.000
7424		2	4			燃え殻(基準値を超える有害物質を含むもの)	1.14	0.228
7425		2	5			廃油(基準値を超える有害物質を含むもの)	0.90	0.018
7426		2	6			汚泥(基準値を超える有害物質を含むもの)	1.10	0.022
7427		2	7			廃酸(基準値を超える有害物質を含むもの)	1.25	0.025
7428		2	8			廃アルカリ(基準値を超える有害物質を含むもの)	1.13	0.023
7429		2	9			ばいじん(基準値を超える有害物質を含むもの)	1.26	0.063
7430		3				処分するために処理したもの(基準値を超える有害物質を含むもの)	1.00	0.200
7440		4				廃水銀(処分するために処理したものを含む)	13.57	0.001

単位数量「個・台」の重量換算係数の算定根拠

大分類	中・小分類	換算値	荷姿	算定根拠
燃え殻		0.228t	ドラム缶	ヒアリングの結果、200リットルのドラム缶にて運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。200リットル×1.14(燃え殻の重量換算係数)=228kg=0.228t
	焼却灰	0.228t	ドラム缶	ヒアリングの結果、200リットルのドラム缶にて運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。200リットル×1.14(燃え殻の重量換算係数)=228kg=0.228t
	石炭灰	8t	バラ	ヒアリングの結果、10t車のトラックにて運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。10t車の平均積載重量 8t
	廃棄物の焼却灰	0.228t	ドラム缶	ヒアリングの結果、200リットルのドラム缶にて運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。200リットル×1.14(燃え殻の重量換算係数)=228kg=0.228t
	廃カーボン・活性炭	1.14t	フレコンパック	ヒアリングの結果、1m3のフレコンパックで保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。1m3×1.14(燃え殻の重量換算係数)
汚泥(泥状のもの)		0.022t	ペール缶	ヒアリングの結果、20リットルのペール缶で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。20リットル×1.1(汚泥の重量換算係数)
	有機性汚泥	0.022t	ペール缶	ヒアリングの結果、20リットルのペール缶で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。20リットル×1.1(汚泥の重量換算係数)
	下水汚泥	8t	バラ	ヒアリングの結果、10t車のトラックにて運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。10t車の平均積載重量 8t
	無機性汚泥	0.022t	ペール缶	ヒアリングの結果、20リットルのペール缶で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。20リットル×1.1(汚泥の重量換算係数)
	建設汚泥	8t	バラ	ヒアリングの結果、10t車のトラックにて運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。10t車の平均積載重量 8t
	上水汚泥	8t	バラ	ヒアリングの結果、10t車のトラックにて運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。10t車の平均積載重量 8t
廃油		0.016t	一斗缶	ヒアリングの結果、18リットルの一斗缶で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。18リットル×0.9(廃油の重量換算係数)
	一般廃油	0.016t	一斗缶	ヒアリングの結果、18リットルの一斗缶で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。18リットル×0.9(廃油の重量換算係数)
	鉱物性油	0.016t	一斗缶	ヒアリングの結果、18リットルの一斗缶で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。18リットル×0.9(廃油の重量換算係数)
	植物性廃油	0.016t	一斗缶	ヒアリングの結果、18リットルの一斗缶で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。18リットル×0.9(廃油の重量換算係数)
	廃溶剤	0.016t	一斗缶	ヒアリングの結果、18リットルの一斗缶で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。18リットル×0.9(廃油の重量換算係数)
	固形油	0.016t	一斗缶	ヒアリングの結果、18リットルの一斗缶で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。18リットル×0.9(廃油の重量換算係数)
	油でい	0.016t	一斗缶	ヒアリングの結果、18リットルの一斗缶で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。18リットル×0.9(廃油の重量換算係数)

単位数量「個・台」の重量換算係数の算定根拠

大分類	中・小分類	換算値	荷姿	算定根拠
廃酸		0.025t	ポリ容器	ヒアリングの結果、20リットルのポリ容器で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。20リットル×1.25(廃酸の重量換算係数)
	写真定着廃酸	0.025t	ポリ容器	ヒアリングの結果、20リットルのポリ容器で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。20リットル×1.25(廃酸の重量換算係数)
廃アルカリ		0.023t	ポリ容器	ヒアリングの結果、20リットルのポリ容器で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。20リットル×1.13(廃アルカリの重量換算係数)=23kg=0.023t
	写真現像液	0.023t	ポリ容器	ヒアリングの結果、20リットルのポリ容器で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。20リットル×1.13(廃アルカリの重量換算係数)=23kg=0.023t
廃プラスチック類		0.017t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。50リットル×0.35(廃プラスチック類の重量換算係数)=17.5kg=0.017t
	廃タイヤ	0.007t	バラ	平成18年度電子マニフェスト実績データから設定(データ数514)
	自動車用プラスチックバンパー	0.007t	バラ	ヒアリングの結果、車両のバンパー重量平均値から設定した。1個 7kg=0.007t
	廃農業用ビニール	3t	バラ	ヒアリングの結果、4t車のトラックにて運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。4t車の平均積載量 3t
	プラスチック製廃容器包装	0.005t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。50リットル×0.1(プラスチック製廃容器包装の重量換算係数)=5kg=0.005t
	発泡スチロール	0.001t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。50リットル×0.02(発泡スチロールの重量換算係数)=1kg=0.001t
	発泡ウレタン	0.001t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。50リットル×0.02(発泡ウレタンの重量換算係数)=1kg=0.001t
	発泡ポリスチレン	0.015t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。50リットル×0.03(発泡ポリスチレンの重量換算係数)=1.5kg=0.015t
	塩化ビニール製建設資材	0.01t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。50リットル×0.2(塩化ビニール製建設資材の重量換算係数)=10kg=0.01t
	紙くず		0.015t	分別袋
建設工事のダンボール		0.015t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。50リットル×0.3(紙くずの重量換算係数)=15kg=0.015t
ダンボール		0.015t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。50リットル×0.3(紙くずの重量換算係数)=15kg=0.015t
木くず		0.027t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。50リットル×0.55(木くずの重量換算係数)=27kg=0.027t
	建設工事の木くず	0.027t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。50リットル×0.55(木くずの重量換算係数)=27kg=0.027t
	伐採材・伐根材	0.027t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。50リットル×0.55(木くずの重量換算係数)=27kg=0.027t
繊維くず		0.006t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。50リットル×0.12(繊維くずの重量換算係数)=6kg=0.006t
	建設工事の繊維くず	0.03t	バラ	ヒアリングの結果、建設工事の繊維くずは一般的に量なので、次のように設定した。畳1枚の重量=30kg=0.03t
動植物性残渣		0.2t	ドラム缶	ヒアリングの結果、200リットルのドラム缶にて保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。200リットル×1(動植物性残渣の重量換算係数)=200kg=0.2t
動物系固形不要物		0.2t	ドラム缶	ヒアリングの結果、200リットルのドラム缶にて保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。200リットル×1(動植物性残渣の重量換算係数)=200kg=0.2t
ゴムくず		0.026t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。50リットル×0.52(ゴムくずの重量換算係数)=26kg=0.026t
金属くず		0.056t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。50リットル×1.13(金属くずの重量換算係数)=56kg=0.056t

単位数量「個・台」の重量換算係数の算定根拠

大分類	中・小分類	換算値	荷姿	算定根拠	
	鉄くず	0.056t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なもので、次のように設定した。50リットル×1.13(金属くずの重量換算係数)=56kg=0.056t	
	非鉄金属くず	0.056t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なもので、次のように設定した。50リットル×1.13(金属くずの重量換算係数)=56kg=0.056t	
	鉛製の管又は板	0.056t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なもので、次のように設定した。50リットル×1.13(金属くずの重量換算係数)=56kg=0.056t	
	電線くず	0.056t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なもので、次のように設定した。50リットル×1.13(金属くずの重量換算係数)=56kg=0.056t	
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず		0.05t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なもので、次のように設定した。50リットル×1(ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くずの重量換算係数)=50kg=0.050t	
	ガラスくず	0.05t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なもので、次のように設定した。50リットル×1(ガラスくずの重量換算係数)=50kg=0.050t	
	カレット	0.05t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なもので、次のように設定した。50リットル×1(カレットの重量換算係数)=50kg=0.050t	
	廃ブラウン管(側面部)	0.025t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なもので、次のように設定した。50リットル×0.5(廃ブラウン管(側面部)の重量換算係数)=25kg=0.025t	
	ガラス製廃容器包装	0.025t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なもので、次のように設定した。50リットル×0.5(ガラス製廃容器包装の重量換算係数)=25kg=0.025t	
	ロックウール	0.015t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なもので、次のように設定した。50リットル×0.3(ロックウールの重量換算係数)=15kg=0.015t	
	石綿(非飛散性)	0.025t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なもので、次のように設定した。50リットル×0.5(石綿(非飛散性)の重量換算係数)=25kg=0.025t	
	グラスウール	0.01t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なもので、次のように設定した。50リットル×0.2(グラスウールの重量換算係数)=10kg=0.010t	
	岩綿吸音板	0.015t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なもので、次のように設定した。50リットル×0.3(岩綿吸音板の重量換算係数)=15kg=0.015t	
	陶磁器くず	0.05t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なもので、次のように設定した。50リットル×1(陶磁器くずの重量換算係数)=50kg=0.05t	
	コンクリートくず	0.075t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なもので、次のように設定した。50リットル×1.5(コンクリートくずの重量換算係数)=75kg=0.075t	
	石膏ボード	0.015t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なもので、次のように設定した。50リットル×0.3(石膏ボードの重量換算係数)=15kg=0.015t	
	ALC(軽量気泡コンクリート)	0.025t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なもので、次のように設定した。50リットル×0.5(ALCの重量換算係数)=25kg=0.025t	
	鉱さい		8t	バラ	ヒアリングの結果、10t車のトラックにて運搬しているケースが一般的なもので、次のように設定した。10t車の平均積載重量 8t
		スラグ	8t	バラ	ヒアリングの結果、10t車のトラックにて運搬しているケースが一般的なもので、次のように設定した。10t車の平均積載重量 8t
がれき類		0.074t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なもので、次のように設定した。50リットル×1.48(がれき類の重量換算係数)=74kg=0.074t	
	コンクリート破片	0.074t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なもので、次のように設定した。50リットル×1.48(がれき類の重量換算係数)=74kg=0.074t	
	アスファルト・コンクリート破片	0.074t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なもので、次のように設定した。50リットル×1.48(がれき類の重量換算係数)=74kg=0.074t	
動物のふん尿	0.2t	ドラム缶	ヒアリングの結果、200リットルのドラム缶にて保管・運搬しているケースが一般的なもので、次のように設定した。200リットル×1(動物のふん尿の重量換算係数)=200kg=0.2t		
動物の死体	0.08t	バラ	最も飼育数の多い肥育豚を対象とし、肥育豚の中央値(堆肥化施設設計マニュアルを参照)から算出。		

単位数量「個・台」の重量換算係数の算定根拠

大分類	中・小分類	換算値	荷姿	算定根拠
ばいじん		0.063t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。50リットル×1.26(ばいじんの重量換算係数)=63kg=0.063t
処分するために処理したものの		0.2t	ドラム缶	ヒアリングの結果、200リットルのドラム缶にて固化して保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。200リットル×1(処分するために処理したものの重量換算係数)=200kg=0.2t
建設混合廃棄物		0.013t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。50リットル×0.26(建設混合廃棄物の重量換算係数)=13kg=0.013t
	安定型建設混合廃棄物	0.013t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。50リットル×0.26(建設混合廃棄物の重量換算係数)=13kg=0.013t
	管理型建設混合廃棄物	0.013t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。50リットル×0.26(建設混合廃棄物の重量換算係数)=13kg=0.013t
	新築系混合廃棄物	0.013t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。50リットル×0.26(建設混合廃棄物の重量換算係数)=13kg=0.013t
	解体系混合廃棄物	0.013t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。50リットル×0.26(建設混合廃棄物の重量換算係数)=13kg=0.013t
安定型混合廃棄物		0.013t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。50リットル×0.26(建設混合廃棄物の重量換算係数)=13kg=0.013t
管理型混合廃棄物		0.013t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。50リットル×0.26(建設混合廃棄物の重量換算係数)=13kg=0.013t
シュレッターダスト		0.013t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。50リットル×0.26(建設混合廃棄物の重量換算係数)=13kg=0.013t
石綿含有産業廃棄物				
	建設混合廃棄物	0.013t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。50リットル×0.26(建設混合廃棄物の重量換算係数)=13kg=0.013t
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0.05t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。50リットル×1(ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くずの重量換算係数)=50kg=0.05t
	廃プラスチック類	0.017t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。50リットル×0.35(廃プラスチック類の重量換算係数)=17.5kg=0.017t
	がれき類	0.074t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。50リットル×1.48(がれき類の重量換算係数)=74kg=0.074t
	紙くず	0.015t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。50リットル×0.3(紙くずの重量換算係数)=15kg=0.015t
	木くず	0.027t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。50リットル×0.55(木くずの重量換算係数)=27kg=0.027t
	繊維くず	0.006t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。50リットル×0.12(繊維くずの重量換算係数)=6kg=0.006t
廃自動車		1.3t	バラ	ヒアリングの結果、乗用車の平均重量から設定した。1台 1.3t
	廃二輪車	0.2t	バラ	ヒアリングの結果、250cc～400ccのバイクの平均重量から設定した。1台 200kg=0.2t
	バイク	0.1t	バラ	ヒアリングの結果、原付バイク～125ccのバイク平均重量設定した。1台 100kg=0.1t
	自転車	0.015t	バラ	ヒアリングの結果、自転車の平均重量から設定した。1台 15kg=0.015t
廃電気機械器具		0.01t	バラ	実績データで最も多く登録されていたOA機器の平均重量から設定した。10kg=0.01t

単位数量「個・台」の重量換算係数の算定根拠

大分類	中・小分類	換算値	荷姿	算定根拠
	廃パチンコ機及び廃パチスロ機	0.03t	バラ	ヒアリングの結果、パチンコ及びパチスロ機の平均重量から設定した。1台 30kg=0.3t
	プリント配線板	0.03t	バラ	ヒアリングの結果、30リットルのポリ容器に保管・運搬しているのが一般的なので、次のように設定した。30リットル×1(廃電気機械器具等の比重)
	テレビジョン受信機	0.03t	バラ	ヒアリングの結果、ブラウン管テレビの平均重量から設定した。1台 30kg=0.03t
	エアコンディショナー	0.04t	バラ	ヒアリングの結果、室内機と室外機の平均重量から設定した。1台 40kg=0.04t
	冷蔵庫	0.1t	バラ	ヒアリングの結果、冷蔵庫の平均重量から設定した。1台 100kg=0.1t
	洗濯機	0.05t	バラ	ヒアリングの結果、洗濯機の平均重量から設定した。1台 50kg=0.05t
	電子レンジ	0.015t	バラ	ヒアリングの結果、電子レンジの平均重量から設定した。1台 15kg=0.015t
	パーソナルコンピュータ	0.005t	バラ	ヒアリングの結果、デスクトップとノートパソコンの平均重量から設定した。1台 5kg=0.005t
	電話機	0.003t	バラ	ヒアリングの結果、電話機の平均重量から設定した。1台 3kg=0.003t
	自動販売機	0.35t	バラ	ヒアリングの結果、自動販売機の平均重量から設定した。1台 350kg=0.35t
	蛍光灯	0.001t	バラ	ヒアリングの結果、蛍光灯は10本1組として運搬するのが一般的なので、10本分の重量を設定した。1kg=0.001t
	冷凍庫	0.04t	バラ	ヒアリングの結果、冷凍庫の平均重量から設定した。1台 40kg=0.04t
廃電池類		0.01t	バラ	ヒアリングの結果、一番多く排出される小型自動車のバッテリーの重量から設定した。1台 10kg=0.01t
	鉛蓄電池	0.01t	バラ	ヒアリングの結果、一番多く排出される小型自動車のバッテリーの重量から設定した。1台 10kg=0.01t
	乾電池	0.01t	バラ	ヒアリングの結果、一番多く排出される小型自動車のバッテリーの重量から設定した。1台 10kg=0.01t
複合材	0.05t	分別袋	ヒアリングの結果、1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。50リットル×1(建設混合廃棄物の重量換算係数)=50kg=0.05t	
燃えやすい廃油		0.016t	一斗缶	ヒアリングの結果、18リットルの一斗缶で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。18リットル×0.9(廃油の重量換算係数)
	燃えやすい廃油(基準値を超える有害物質を含む)	0.016t	一斗缶	ヒアリングの結果、18リットルの一斗缶で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。18リットル×0.9(廃油の重量換算係数)=16.2kg≒0.016t
ph2.0以下の廃酸		0.025t	ポリ容器	ヒアリングの結果、20リットルのポリ容器で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。20リットル×1.25(廃酸の重量換算係数)
	ph2.0以下の廃酸(基準値を超える有害物質を含む)	0.025t	ポリ容器	ヒアリングの結果、20リットルのポリ容器で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。20リットル×1.25(廃酸の重量換算係数)=25kg=0.025t
ph12.5以上の廃アルカリ	0.023t	ポリ容器	ヒアリングの結果、20リットルのポリ容器で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。20リットル×1.13(廃アルカリの重量換算係数)=23kg=0.023t	

単位数量「個・台」の重量換算係数の算定根拠

大分類	中・小分類	換算値	荷姿	算定根拠
	ph12.5以上の廃アルカリ(基準値を超える有害物質を含むもの)	0.023t	ポリ容器	ヒアリングの結果、20リットルのポリ容器で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。20リットル×1.13(廃アルカリの重量換算係数)=23kg=0.023t
感染性廃棄物		0.007t	容器	平成18年度実績データから設定した。(データ数19)
特定有害産業廃棄物		0.018t	一斗缶	ヒアリングの結果、18リットルの一斗缶で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。18リットル×1(特定有害産業廃棄物の重量換算係数)=18kg=0.018t
	廃PCB等・PCB汚染物・PCB処理物	0.1t	バラ	ヒアリングの結果、廃PCBとして代表的なトランス、コンデンサーの平均重量から設定した。1台 100kg=0.1t
	廃PCB	0.1t	バラ	ヒアリングの結果、廃PCBとして代表的なトランス、コンデンサーの平均重量から設定した。1台 100kg=0.1t
	PCB汚染物	0.02t	容器	ヒアリングの結果、20リットルの容器で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。20リットル×1(多種多様のため、廃棄物の比重を1とした)=20kg=0.02t
	PCB処理物	0.02t	容器	ヒアリングの結果、20リットルの容器で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。20リットル×1(多種多様のため、廃棄物の比重を1とした)=20kg=0.02t
	廃石綿等(飛散性)	0.009t	分別袋	ヒアリングの結果、30リットルの袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。30リットル×0.3(廃石綿等の重量換算係数)=9
	指定下水汚泥	8t	バラ	ヒアリングの結果、10t車のトラックにて運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。10t車の平均積載重量 8t
	鉛さい(基準値を超える有害物質を含むもの)	8t	バラ	ヒアリングの結果、10t車のトラックにて運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。10t車の平均積載重量 8t
	燃え殻(基準値を超える有害物質を含むもの)	0.228t	ドラム缶	ヒアリングの結果、200リットルのドラム缶にて運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。200リットル×1.14(燃え殻の重量換算係数)=228kg=0.228t
	廃油(基準値を超える有害物質を含むもの)	0.018t	ペール缶	ヒアリングの結果、20リットルのペール缶で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。20リットル×0.9(廃油の重量換算係数)=18kg=0.018t
	汚泥(基準値を超える有害物質を含むもの)	0.022t	ペール缶	ヒアリングの結果、20リットルのペール缶で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。20リットル×1.1(汚泥の重量換算係数)=22kg=0.022t
	廃酸(基準値を超える有害物質を含むもの)	0.025t	ポリ容器	ヒアリングの結果、20リットルのポリ容器で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。20リットル×1.25(廃酸の重量換算係数)=25kg=0.025t
	廃アルカリ(基準値を超える有害物質を含むもの)	0.023t	ポリ容器	ヒアリングの結果、20リットルのポリ容器で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。20リットル×1.13(廃アルカリの重量換算係数)=23kg=0.023t
	ばいじん(基準値を超える有害物質を含むもの)	0.063t	分別袋	ヒアリングの結果、50リットル(60cm×80cm)の分別袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。50リットル×1.26(ばいじんの重量換算係数)=63kg=0.063t
	処分するために処理したものの(基準値を超える有害物質を含むもの)	0.2t	ドラム缶	ヒアリングの結果、200リットルのドラム缶にて固化して保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。200リットル×1(処分するために処理したものの重量換算係数)=200kg=0.2t